

昭和29年10月15日
第三種郵便物認可

毎月1日発行
定価1部3円

 広報おたわら

発行所
小田原市役所
小田原市幸1~900
編集兼発行人
佃 三郎
株式会社 交通堂印刷
全世帯配布

小田原市の人口
3月1日現在

人口	135,847人
男	67,556人
女	68,291人
世帯	30,868世帯

前月の人口 260人増
と比べ 男 162人増
女 118人増
世帯 170世帯増

4月の広報こよみ

◇固定資産税・台帳の複写 (1) 20日

◇小田原桜まつり (4) 6日

◇第16回世界保健デー (7日)

◇第16回婦人週間 (10) 16日

◇郵便週間 (20) 28日

◇天皇誕生日 (29日)

鈴木市長の新年度施政方針

建設 市民福祉に積極策

飛躍的發展に即応

さる三月十一日開かれた市議会定例会で鈴木市長は昭和三十九年度の「新年度」の施政方針を述べ、その要旨を述べた。

鈴木市長は、「この施政方針の中で、年ごとにと著しい発展を遂げている本市にとって昭和三十九年度は飛躍への転換期である」と述べ、内外諸要の推移を的確に捉え、積極的な建設事業を推進するとともに、市民福祉の増進につとめることを強調された。

なお、施政方針の全文は次のとおりです。

昭和三十三年の戦災で、本市は中々いともいともあるべき姿に回復して、基礎施設の整備が急務となつてゐる。本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。

幹線道路の補修と漁港の修築

本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。

民生活

本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。

予算編成の方針

本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。

躍進への転換期に立つ

交通、産業、経済、面などに画期的進展

昭和39年4月1日(水曜日)

進出して、まもなく春を迎え、本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。



さる3月11日開会された市議会定例会で新年度の施政方針をのべる鈴木市長

市税の増収年度より29%

本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。

春の防犯運動

4月1日～30日

外出するときはかぎをかけ、隣へ声をかけよう。

4月から保険料を改訂

医療費の増加等により

融資額の引き上げなど

中小企業小口融資

極力投資的経費を計上

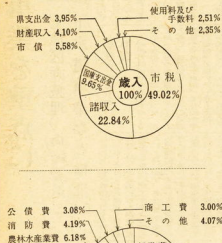
本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。本市は、戦災の復讐を急ぐべきである。

小田原 ケイリン

4月5、6、7、24、25、26日

発走 12時

昭和39年度一般 会計当初予算



39年度一般会計当初予算の概要

総額 21億4180万円

歳入

昭和39年度一般会計当初予算の歳入は、前年度に比し、約10%増の21億4180万円と見込まれる。その内訳は、市税が約10億5000万円、地方収入が約5億0000万円、市債が約1億2000万円、財政収入が約8000万円、黒支出金が約1500万円、使用料及び手数料が約6000万円、その他が約5000万円と見込まれる。

歳出

昭和39年度一般会計当初予算の歳出は、前年度に比し、約10%増の21億4180万円と見込まれる。その内訳は、総務費が約4億5000万円、民生費が約3億5000万円、教育費が約3億5000万円、土木費が約3億5000万円、衛生費が約3億0000万円、農林水産業費が約1億5000万円、消防費が約8000万円、公債費が約6000万円、その他が約1億2000万円と見込まれる。

前年度より四億九千万円の増

投資的経費は33%

駅裏広場など整備

市営住宅 市内3カ所に60戸

教育

教育費は、昭和39年度当初予算で、前年度に比し、約10%増の3億5000万円と見込まれる。その内訳は、小学校教育費が約1億5000万円、中学校教育費が約1億0000万円、高等学校教育費が約1000万円、その他が約9000万円と見込まれる。

建設

老人ホームに1,400万円

第2年度分の建設費を計上

市民生

本町小などを改築

尊徳記念館に宝物館

心配ご相談

4月

7.14.21.28日

午前9時～午後3時

市立青少年指導所

39年度一般会計当初予算

(単位千円)		本年度予算	
歳入		本年度予算	
1.	市税	1,050,000	6,000
2.	地方収入	50,000	22,457
3.	市債	12,000	53,777
4.	財政収入	8,000	206,584
5.	黒支出金	1,500	87,883
6.	使用料及び手数料	6,000	8,230
7.	その他	5,000	489,211
8.	合計	2,141,807	119,500
9.	歳入	2,141,807	
10.	歳出		
11.	総務費	42,893	42,893
12.	民生費	318,508	318,508
13.	教育費	3,500,000	3,500,000
14.	土木費	3,500,000	3,500,000
15.	衛生費	3,000,000	3,000,000
16.	農林水産業費	1,500,000	1,500,000
17.	消防費	800,000	800,000
18.	公債費	600,000	600,000
19.	その他	1,200,000	1,200,000
20.	合計	21,418,000	21,418,000
21.	歳出	21,418,000	
22.	歳出	21,418,000	
23.	合計	21,418,000	

